

改良基礎雌牛の導入

碓高原牧場では、2月26日に、肉用牛の先進地である鹿児島県から、改良基礎雌牛（8～9か月齢）を4頭導入しました。

せり市に上場された700頭から厳選した導入牛は、遺伝的産肉能力に優れ、次代を担うと期待されている種雄牛「華春福」^{はなはるふく}を父とする血統であり、初夏には受精卵を採取し、この血統を心待ちしている繁殖農家等に供給することとしています。



鹿児島県から導入した雌子牛